

楽しい職場づくりへ/ヤマックスに女性工場長/「生コンのにおいに癒される」

2022/04/22 建設通信新聞 8ページ 1059文字

コンクリート製品工場で全国初とみられる女性工場長がヤマックス（熊本市）に誕生した。現場で活躍する女性が1割程度の建設業界において、マネジメントするトップに女性が就くのは工場に限らず珍しい。60年近くの同社の歴史でももちろん初めてだ。同社は「男性と違った視点での進化・発展の起爆剤になれば」（西田親良常務西日本事業本部生産統括本部長）と期待を寄せる。4月1日付で就任した永田なおみ人吉工場長に抱負を聞いた。

2011年8月に稼働した人吉工場は、従業員18人で、L型擁壁や熊本県南部を襲った20年7月豪雨の災害用ブロックなどを生産している。

工場生産・受注、品質管理などマネジメント全般を担う運営面では「細かい気遣いや楽しい職場づくりなど自分のできる最大限のことを実行するとともに、従業員には積極的に声を掛け、不具合や間違いを言いやすい、風通しの良い環境をつくりたい」とコミュニケーションに力を入れる方針だ。

建設業界が進める週休2日への対応や新型コロナウイルス感染症対策などで生産体制はタイトだが、「必要な休暇は必ず申請してもらおうよう声をかけている」。定年延長の対応についても「働き方を変えたり、最新設備を入れたり、みんなで考えていく」と先を見据える。

担い手確保では、「建設業は3Kのど真ん中。油まみれになり、夏は暑く、冬は寒い、重量物も扱うため、危険も伴う。その一方で安全第一は当然として、好きな仕事だったらそれらも気にならない」と、仕事のやりがいを知ってもらうことの大切さを強調する。

自身は「人におかしいと言われる」ほど、生コン好き。「見るとわくわくし、作業服から生コンのにおいがすると癒される」という。そして、試行錯誤により製造した製品がインフラで活用され、形となるのを見るたびにやりがいを感じる。

女性だからという気負いはない。「子育てや仕事で精いっぱいという環境ではない。やりたいことができる、そういう働き方ができている。会社も明確に休日や勤務時間を決めてくれている」と充実した毎日を送っている。2人の高校球児の子育てとともに、近年はバイクのツーリングやアマチュア無線などの趣味も始めた。一方で、「自分1人だけでは前に進めない」と、業界で活躍する女性との交流や連携にも意欲を見せる。

（ながた・なおみ）リフォーム会社、生コン会社など勤務後、2012年にヤマックス人吉工場に入社。子育てをしながらコンクリート技士、プレコン管理士などを取得。熊本工業大（現崇城大）工学部建築学科卒。熊本県出身、48歳。